

製品名: リン酸化 PLM(S68)マウスモノクローナル抗体**カタログ番号:** AMM85905

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB
反応性	ねずみ
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウムを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:200-1:1000
分子量	10.3kDa

抗原情報

遺伝子名	Phospho-PLM(S68)
別名	Phospholemman, FXYD domain-containing ion transport regulator 1, Fxyd1, Plm
遺伝子 ID	56188.0
SwissProt ID	Q9Z239
免疫原	この PLM 抗体は、マウス PLM の S68 を囲むアミノ酸残基に対応する KLH 結合合成リン酸化ペプチドで免疫化されたマウスから生成されます。

背景

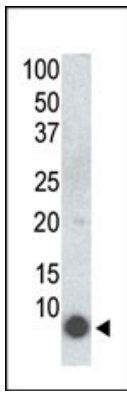
この遺伝子は、PFXYD 配列から始まり、7つの不変アミノ酸と6つの高度に保存されたアミノ酸を含む35アミノ酸のシグネチャー配

列ドメインを共有する、小型膜タンパク質ファミリーである FXYP ファミリーのメンバーをコードします。この遺伝子によってコードされるタンパク質は、プロテインキナーゼ A、プロテインキナーゼ C、NIMA キナーゼ、ミオトニックジストロフィーキナーゼなど、いくつかのキナーゼの細胞膜基質です。イオンチャネルを形成するか、イオンチャネルの活性を制御し、Na,K-ATPase の補助タンパク質として機能すると考えられています。選択的スプライシングを受けた転写バリエーションが報告されています。

研究分野

-

画像データ



PLM をコードするプラスミドを導入した 293 細胞における Phospho-PLM(S68) マウスモノクローナル抗体のウエスタンブロット分析。